いきものふれあいの里 陶史の森だより

土岐市ネイチャーセンター
☎㊾5144

晩秋の紅葉　－ メタセコイア －

林泉の池周辺の紅葉



秋の陶史の森は、イチョウやモミジなどの葉が赤や黄色になり、緑一色だった森をカラフルな色に染めています。まるで大自然の芸術家が舞い降りてきて、陶史の森に色を付けたようです。森内の遊歩道を歩きながら周りの木々を見渡せば、心和む一時が過ごせることでしょう。そして、楽しい『紅葉狩り』を味わうことができると思います。

色鮮やかに紅葉した木々の中に、円すい形で真っ直ぐそびえ立つ木があります。「メタセコイア」です。別名は「曙杉（アケボノスギ）」。『生きた化石』ともいわれます。

メタセコイアの化石は、日本を含む北極周辺の新生代第三紀層に広く分布していました。ところが、昭和20年に中国四川省で現存することが確認され、昭和24年には国と皇室が種子などを譲り受け、全国各地の公園、並木道、学校などに植えられました。

陶史の森は昭和47年から造成工事が始まり、昭和50年に完成したことから、“バーベキュー場”や“ちびっ子広場”、“桃山緑地”にあるメタセコイヤの木は、その頃に植えられたと思われます。

メタセコイヤは最大40mにもなるそうです。陶史の森にある木の樹高はおよそ15～20mぐらいですが、それでも堂々の大きさです。落葉してしまう前に、セピア色に染まった美しい円すい形をぜひご覧ください。



紅葉したメタセコイア

森の日記

「草木染め教室」

9月11日(日)

折ったり、輪ゴムでしばったりした白い布を、カリヤスの茎、タマネギの皮、マリーゴールドの花びらなどをグツグツ煮詰めた湯の中につけ込み、さらに加熱しました。そして、銅やアルミの媒染液に浸けると、あら不思議！白い布が、黄色・紫色・紺色などに変色しました。





水洗いをしながら布を広げてみると、いろんな模様が浮かび上がり、「世界で一つだけ」の素敵なハンカチが完成しました。

教室のご案内

11月
●バードウオッチング(要申込　定員10人)
11月27日(日)　午前９時～11時
晩秋の野鳥を観察します。(雨天中止)

12月
●バードウオッチング(要申込　定員10人)
12月25日(日)　午前９時～11時
冬の野鳥を観察します。(雨天中止)

※秋から冬にかけては、メジロなど一年中みられる鳥に加えて、シロハラやジョウビタキなどの冬鳥が観られます。ご来園をお待ちしています。

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。